



令和元年度 群馬県景観講演会

群馬県 県土整備部 都市計画課

群馬県と群馬県都市計画協会の共催による景観講演会が令和元年12月10日(火)、群馬県庁29階(292会議室)で開催されました。

公益社団法人日本サインデザイン協会理事で景観デザイナーの宮沢功氏と同協会副会長で(株)竹内デザイン一級建築士事務所代表取締役の竹内誠氏を講師に迎え、景観と屋外広告物をテーマとして講演をしていただきました。

宮沢氏からは、『景観と屋外広告物の関わり、その役割とあり方』として、1900年代初頭から現代にかけての屋外広告物の変遷に伴う街の様相と、屋外広告物に求められる社会的役割について、国内外の屋外広告物によるまちづくりの事例を交えて、お話していただきました。

竹内氏からは、群馬県都市計画課が作成した3つのガイドライン(※)について、活用に向けた解説と地域の魅力を高めるための工夫等について、お話していただきました。

お二方の講演を通して、屋外広告物をまちのアクセントとして活用し、地域の活性化につなげるという事例や、周辺景観と調和させる考え方などは、参加者にとって、とても参考になったことと思います。

なお、3つのガイドラインは、群馬県ホームページにて公開していますので、是非参考としてください。



宮沢 功氏



竹内 誠氏



景観講演会の様子

(※)ガイドライン

- ・ 上信自動車道景観誘導地域における統一デザイン集合看板 ルール&ガイドライン(H30.5)
[群馬県 HP <https://www.pref.gunma.jp/06/h5800348.html>]
- ・ 上信自動車道景観誘導地域とその周辺地域における屋外広告物ガイドライン(H31.3)
[群馬県 HP <https://www.pref.gunma.jp/06/h5800348.html>]
- ・ 「ぐんまの風景を魅せる公共サイン」ガイドライン(H31.3)
[群馬県 HP https://www.pref.gunma.jp/06/h58g_00085.html]